

こんな時はためらわずに119番に電話して救急車を呼んでください。

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しう
- 呼吸が弱い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

手足

- 手足が硬直している

他にもこんなことがあったら、救急車を呼びましょう！

- 意識がない(返事がない)またはおかしい(もうろうとしている)
 - けいれんが止まらない。止まっても、意識がもどらない
 - 変なもの飲み込んで、意識がない
 - 虫に刺されて、全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった
 - 痛みのひどいやけどや広範囲のやけど
 - 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
 - 水におぼれて
 - 高所から転落
 - 乳児(生後3か月未満)の様子がおかしい
- ※上記ほか、いつもと違う症状で、様子がおかしい場合

出典:「救急車利用マニュアル」(消防庁)
[\[https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post2.html\]](https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post2.html)

子どもの心肺蘇生

心肺蘇生は成人と同様、胸骨圧迫(心臓マッサージ)と人工呼吸の組み合わせを絶え間なく続けます。「日本医師会 救急蘇生法」をスマートフォンに登録しておきましょう。詳細は、二次元コードから。

- 胸の厚みの約1/3沈む深さまで強く圧迫
- 人工呼吸ができる場合は、気道を確保し人工呼吸を2回行う
- 胸骨圧迫(心臓マッサージ)30回と人工呼吸2回を交互に行う



赤ちゃんに多い誤飲の処置

反応がある場合

口の中の異物を調べながら、「背部叩打法」を行う。



気道異物の除去

1. 救助者の片腕に、うつぶせに乗せ、手のひらで乳児のあごを支えつつ、頭を体より低く保つ。
2. もう一方の手のひらの基部で、背中の真ん中を数回強く叩く。

※処置方法の詳細は、二次元コードからご確認ください。



※日本医師会ホームページより

静岡こども救急電話相談

プッシュ回線の固定電話、携帯電話からは、局番なしの

#8000

ダイヤル回線の固定電話、IP電話、#8000をご利用いただけない地域(熱海市泉、裾野市茶畑の一部地域)からは、

☎ **054-247-9910**

緊急・重症の場合は迷わず「119」へ

相談時間 平日 土曜 日曜・祝日 **24時間**